

再使用禁止

ロケーター用器具

【禁忌・禁止】

- ①本製品を治療の目的以外に使用しないこと。
- ②劣化や異常が見られたときは、使用しないこと。
- ③器具の形態変更や改造等をしないこと。

（使用方法）

再使用禁止（ロケーター印象用キャップ及びフィメールアナログのみ）

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、ロケーターアバットメント用の補綴用器具で、以下のものから構成される。

2. 形状、構造

番号	名 称	形 状
(1)	ロケーター コアツール	
(2)	ロケーター フィメールアナログ	
(3)	ロケーター 印象用キャップ	
(4)	ロケーター トルクドライバー	

3. 原材料

番号	名 称	原材料
(1)	ロケーターコアツール	ステンレス鋼
(2)	ロケーターフィメールアナログ	ステンレス鋼
(3)	ロケーター印象用キャップ	アルミニウム合金、 ポリエチレン
(4)	ロケータートルクドライバー	ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

本品は、ロケーターアタッチメント及びロケーターアバットメントを使用する歯科インプラント用補綴物の設計、製作、装着・固定の目的に用いる器具である。

*【使用方法等】

1. ロケーターアバットメントの固定

- (1) ロケーターコアツールのアバットメントドライバーを用いてロケーターアバットメントを歯科用インプラントに取り付ける。
- (2) ロケータートルクドライバーを用いて、ロケーターアバットメントを 30～35Ncm で締め付け固定する。

2. デンチャーキャップの義歯床への取り付け

- (1) ロケーターアバットメントにロケーター印象用キャップを被せる。
- (2) 通法に従い、歯肉を過剰に圧迫しないようにして印象を採得する。
- (3) 印象を外し、印象内のロケーター印象用キャップにロケーターフィメールアナログを取り付ける。
- (4) 印象に石膏を流し込み作業模型を作製する。

- (5) 通法に従い人工歯排列を行い、レジン重合により義歯を完成させ、ロケーターキャップが義歯床に埋め込まれる。
- (6) ブロックアウトスペーサーを取り外す。
- (7) 義歯床を研磨する。

3. ロケーターアバットメントと義歯の連結

- (1) 義歯に埋め込まれたロケーターキャップ内側のリプレースメントメールをロケーターコアツールのメーリングツールを用いて取り外す。
- (2) 義歯の着脱に適したリプレースメントメールをロケーターコアツールのメーリングツールを使用し、ロケーターキャップ内側に装着する。
 - a) 歯科用インプラントの埋入角度が 0～10°（インプラント相互間の角度が 10～20°の時はクリアー（2.3kg 用）又はピンク（1.4kg 用）又はブルー（0.7kg 用）のレプレースメントメールを使用する。
 - b) 歯科用インプラントの埋入角度が 10～20°（インプラント相互間の角度が 20～40°の時はグリーン（1.8kg 用）又はレッド（0.5kg 用）のレプレースメントメールを使用する。
- (3) 義歯床をロケーターアバットメントと装着し、咬合の状態を確認する。

【洗浄及び滅菌方法】

ロケーターコアツールは口腔内への使用に先立って以下の方法で滅菌すること。（分解してから洗浄・滅菌すること。）
滅菌方法：高圧蒸気滅菌すること。（予備真空なし）
温度：121℃ 20分以上

【洗浄及び滅菌方法】

上記以外の高圧蒸気滅菌適用外の口腔内で使用する製品については、市販の医療機器洗浄剤とともに 5 分間の超音波洗浄を行った後に流水下で十分洗浄し、通常の手順に従い消毒する。

【使用上の注意】

- ・本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ・過剰な荷重をかけないこと。
- ・本品は未滅菌品であるため、口腔内に適用する場合は必ず洗浄・滅菌又は洗浄・消毒すること。なお、消毒液中に長時間浸漬しないこと。
- ・包装に傷、ピンホール等の破損が認められる等の場合には、当該製品の使用を避けること。
- ・高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

*【保管方法及び使用期間等】

1. 本品は、品質保持のため高温、多湿、直射日光の当たる場所を避け、室温で清潔な場所に保管すること。
2. 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社 OSSTEM JAPAN

東京都品川区上大崎四丁目 5 番 37 号

TEL：03-5747-9441

FAX：03-5747-9442

製造業者：ZEST ANCHORS LLC（アメリカ合衆国）

製造業者：オステムインプラント株式会社（大韓民国）
（OSSTEM Implant CO., LTD.）